

先端科学講座 医学系講座

1 目的

東京大学大学院医学系研究科へ訪問し、講義の受講や研究施設の見学、実習等の医学に関する研究現場の「今」を知ること、最先端の科学技術や研究を学び、科学的な探究心を養うこと。

2 概要

・対象

医学部医学科や東京大学での研究を志望する1年生、2年生の計15名。

・会場

東京大学大学院医学系研究科

・講師

岸 哲史 さん

(大学院医学系研究科講師)

山下 勝成 さん

(大学院医学系研究科博士課程)

川西 立真 さん

(大学院情報理工学系研究科修士課程)

・日程

令和7年12月14日(日)

9時50分～10時50分 岸哲史講師による
講義 『ヒト睡眠研究の現在と未来』

11時00分～11時50分 川西立真さんによる
講義(大学生活及び研究の紹介等)

12時40分～13時10分 大学キャンパス見学

13時10分～14時00分 山下勝成さんによる
講義(大学生活及び研究の紹介等)

14時00分～15時00分 実習(睡眠時脳波
の計測/脳の透明化等)

14時50分～15時00分 まとめ

3 成果と課題

近年発展が目覚ましい「睡眠」に関する研究の最先端の理論や実験手法を学び、ラボツアーでは研究にかかる実験設備の見学・体験を行った。睡眠に関する課題は、睡眠時間不足のほか、睡眠リズムのズレによる社会的時差ボケも関

係していることなど新しく学べた内容も多かった。

また、脳を透明化する技術について、講座実施直前に著名な学会誌に掲載された研究だったため、特に生徒の興味関心を引く内容であったようだ。80%の生徒が最高評価の満足度だったと振り返っている。

一般には公開していない研究施設を見学したり、研究者から直に説明を受けたりする経験を通して、将来東京大学で学びたいと感じる生徒も複数名おり、進路選択の面でも魅力のある講座となった。

「ラボツアーの時間を長く確保してほしい」という生徒の感想も見られたため今後の課題としたい。



写真1 岸講師による講義の様子



写真2 ラボツアーでの体験活動